

子育て者を対象とした家庭教育プログラム

柴田学園大学 健康栄養学科

工藤 寧子

TEL 0172-33-2289

FAX 0172-33-2486

顔写真等
(希望者のみ)

e-mail ya-kudo@shibata.ac.jp

<https://www.youtube.com/@user-cw6dw9zm1n>
(家庭科教材研究グループ：基礎縫い動画)



キーワード

被服設計、衣生活、家庭経営・消費生活、家族
家庭科教育・教材開発

【現在の研究】

近年、生き方や価値観の多様性が受け入れられる社会であるものの、モデルになる生き方を見つけられず、将来の見通しが立ちにくいといわれています。子育てに関しては、厚生労働省の「令和2年度雇用均等基本調査」によると男性の育児休業取得率は2020年15.8%(2019年度10.5%)と過去最高の取得率となっています。また、「産後パパ育休」が2022年10月1日から施行されるなど、夫婦で子供の成長を見守るように制度は変わりつつあります。

一方、文部科学省は全ての親が安心して子育てや家庭教育が出来るように「家庭教育支援」を推進しています。

そこで、性別・年齢問わず子育てに関わる者を対象によりよい生活を実現するための生活力の向上をめざして、**家庭教育プログラムを実施**し効果を検証(工藤・葛西, 2019~)しました。

内容は、**家庭科教育の知識を基盤に**、子育てする際に困っている内容や知りたい情報を調査しながら講座やサポートを行いました。

＜家庭教育プログラムの講座内容例＞

- ・通園バック、シューズバックの作製(柴田学園大学にて)
- ・洗濯の仕方、くつ(上履き)の洗い方(城東保育園にて)
- ・子ども服の修繕と浴衣のあげのとり方(城東保育園にて)
- ・暮らしの安全と消費者トラブル(ヒロロ3階イベントスペースにて)
- ・持続可能なライフスタイルを考えよう(ヒロロ3階イベントスペースにて)

(一部、令和3年度公益財団法人青森学術文化振興財団助成金を頂き実施しました)

その結果、講座の開催は送迎前後の時間は利用できないことや**通園施設での開催**が求められることが明らかになりました。また、**生活のサポートを求めている**ことがわかり、地域交流や専門家を取り入れながら参加者のニーズにあわせた内容を検討し継続しています。

【家庭科教材】

家庭科教材研究グループ(葛西・奈良・工藤)では、**左右の利き手に対応した基礎縫い15種類**の動画を作成し、2022年12月よりYouTubeで公開しています。



保護者や子どもが靴を洗っている様子